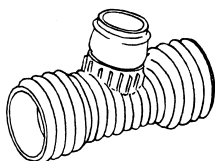


KCリブパイプ用枝付き管施工要領書

KCリブパイプ用枝付き管の施工に当たっては、安全にかつ製品の特性を十分発揮できますよう、下記の施工手順を十分ご理解の上、実施して頂きますよう宜しくお願い致します。

I. 製品の確認

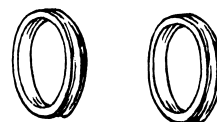
①枝付き管本体 1ヶ



②補助リング 2ヶ



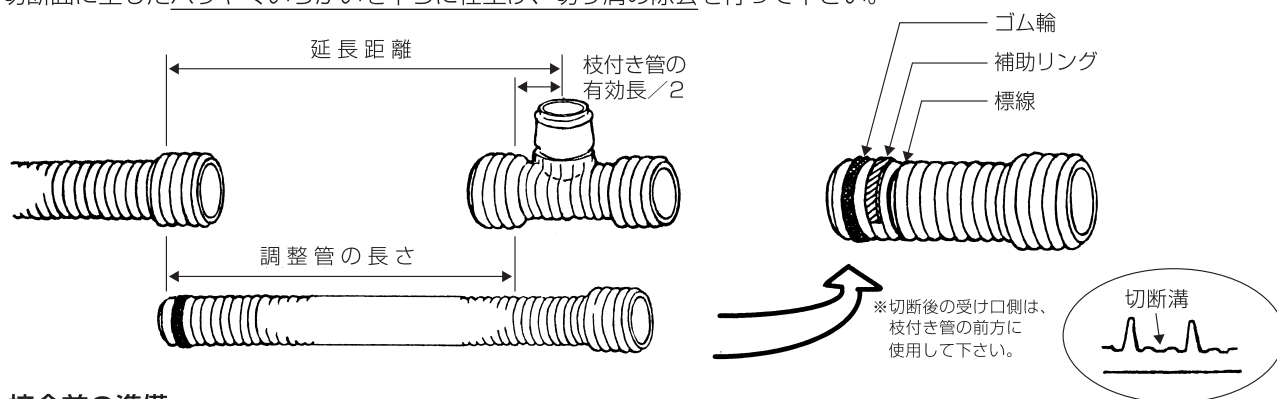
③ゴム輪 2ヶ



II. 施工手順

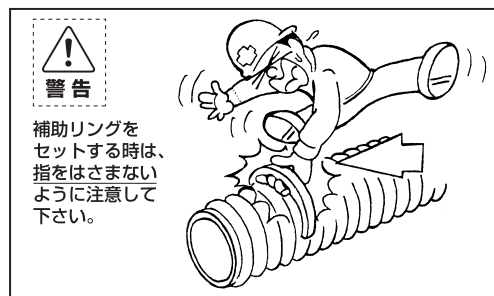
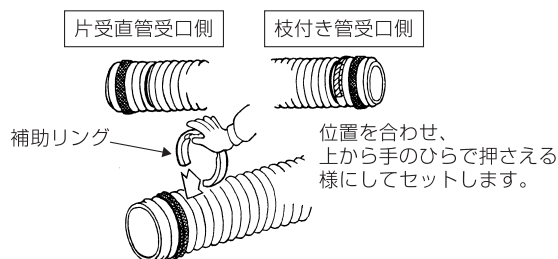
1. 調整管の準備

- ①取付管設置位置の1本手前まで本管の施工が完了した時点で、残りの延長距離を測り、枝付き管の有効長を差し引いて調整管の長さを決めて下さい。
- ②切断は、必ず図の通り切断溝に沿って正確にノコギリなどで切断を行って下さい。
※切断面にくいちがいが生じないように注意して下さい。
- ③切断面に生じたバリやくいちがいを平らに仕上げ、切り屑の除去を行って下さい。



2. 接合前の準備

- ①ゴム輪は、2番目と3番目のリブの間に装着します。
- ②標線位置は、呼び径150の場合は管端より第6番目と第7番目のリブの間、呼び径200以上の場合は第5番目と第6番目のリブの間に記入して下さい。
- ③補助リングは、第4番目と第5番目のリブの間にセットします。（枝付き管受口側のみ）



3. 接合

接合は、本管と同様の手順にて行って下さい。

- ①受口及びゴム輪を清掃して下さい。
- ②受口内面・ゴム輪外面の順にVソープ（滑剤）を塗布して下さい。
- ③挿入は、管軸を合わせて、てこ棒または挿入機等を用いて行い受口奥までしっかり挿入されていることを、取付管接合部より目視（若しくは触感）で確認して下さい。

4. 取付管の施工

取付管は従来の施工手順の通り行って下さい。

ゴム可とう受口のSUSバンドの締めすぎ、締め忘れには、十分に注意して下さい。

締め付けトルク: 2.5~3N・m {25~30kgf・cm} (参考数値)

仮止めキャップを用いて仮止めを行う場合、仮止めキャップに記載の注意事項をお守り下さい。

分岐部が急勾配や深埋設になる場合は、落込吸収伸縮継手をご使用下さい。